

広報

カナダ

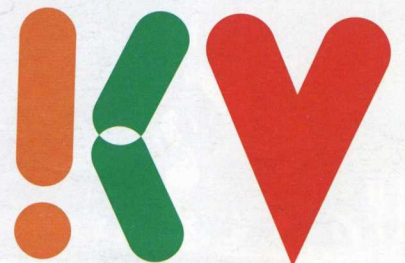
感動・仲よし・大好き



5月17日、中学校体育会での一瞬 (内容は12ページに掲載)

ごあんない

- (P 2~ 9).....まちのわだい
- (P10~21).....こんにちは保健婦ですほか
- (P12~13).....みんなのひろば
- (P16~17).....暮らしのインフォメーション



福岡県金田町

社会にラリー！心にスマッシュ！！

飯塚国際車いすテニス大会

今年も国際車いすテニス大会が、5月20日から24日まで、筑豊ハイツ、庄内町、金田ふれあいスポーツ公園の3会場のテニスコートで連日、熱戦がくりひろげられました。

今大会の出場選手は、世界12ヶ国1地域52人の外国人選手、国内22都道府県126人による、シングルス、ダブルスの試合が、また、今年よりダブルスのクワッドオープンが新しく取り入れられ、エントリーの枠もひろげられています。

21日、飯塚コスモスコモンで行われた開会式には、金田町特産の日王焼き、ミニトマトがバザー会場に出品、**式典**では、平原郷土芸能保存会35名による獅子舞が披露され、外国人選手や、国内の出場選手、会場に集まった人たちから感動の拍手が送られ、金田町の郷土芸能を見ていただきました。

この大会期間前の準備から、期間終了後の片づけまでを含め、延べ2千人以上ともいわれるボランティアのみなさんが参加をし、この大会を影で支えていることが、真の国際交流へと発展をしています。



金田町のベストカップル(中村博幸・美千代さん)による開会あいさつ



ボクが押すよ！！



神崎保育所ちびっこの応援



金田小5年生も応援



剣道とは



コスモスコモンにて舞う



ミニトマトはいかがですか!?



ラリーの途中



緊張しました上野君
選手たちに心は伝わり
ました

ありがとう！！ 国際交歓会

Message for citizen of Kanada Town
I AM ALMOST 40 YEARS OLD. TODAY I LEARNED SO MUCH ABOUT YOUR LOVE FOR OTHERS. I WILL NEVER BE ABLE TO SAY IN WORDS WHAT I FEEL BUT I KNOW I WILL
Name EDDIE CHAN (COACH) Country MALAYSIA

40才の私は、今日、あなた方の選手たちへの大きな愛を学ばせていただきました。言葉では、私の気持ちは言いつくせないけど、私はこの気持ちをマレーシアの人たちや、私の人生で知り合ったすべての人と分かち合いたい。

I WILL SHARE WITH MY PEOPLE IN MALAYSIA AND EVERYONE I WILL MEET FOR THE REST OF MY LIFE. I WILL ALSO LIKE TO COME HERE AGAIN NEXT YEAR. Thank You. KANADA
Edi

ありがとう金田町
エディ・チャン(マレーシア)

Message for citizen of Kanada Town
Thank you for hospitality & friendship. We enjoy visiting Kanada Town. See you next year.
Name Brenda Talbot Country Australia

手厚いもてなしと、友情をありがとう。
金田町訪問は楽しい、じゃあ、来年また会いましょう。
ブレンドン・タルボット(オーストラリア)

Message for citizen of Kanada Town
ที่กลุ่มพยายามจะ มีเพื่อนใหม่ชื่อ รติภา คุณและพี่ชายมีความรัก มากก็ได้อุปถัมภ์ของ คุณ และขอรบกวนขอ รติภา คุณ รติภา (ชื่อ รติภา)
Name รติภา เทชาม รติภา RATTANA TECHAM Country THAILAND

ฉันคิดถึง JAPAN OPEN ในหลายๆปีนะ ขอเมืองของคุณ น่ารักมาก ฉันคิดถึงคุณ รติภา และพี่ชาย ได้มากทีเดียว
รติภา
RATTANA

何と書いたか知りたいたろう!!
「あなた方が用意したこのトーナメントで競う」ここにいることが本当にうれしい、ということさ!
ジャパンオープン、アジアの中でとても大きな大会だと思います。この人たちは、とてもかわいい、私は自分がとてもラッキーだと思っています。
また、この大会にできれば参加したいと思っています。
ラッタマ・チェハマ(タイ)



選手のみなさん連日お疲れさまです

Message for citizen of Kanada Town
金田町みなさん、いつもありがとう!!
今晚の交歓会、とても楽しかったです。
今年この大会に出場するのは、4回目(連続)になります。
また来年も参加し、皆さんと交流を深めたいです。
Thank you very much.
Name Yuka Chokyu 長久由佳 Country JAPAN CANADA



これが餅つきです

車いすテニス出場外国人選手の間で最も楽しいイベントとして定着している金田町国際交歓会が22日、ふれあいイベント広場で行われました。

この会の実行委員長の中村博幸さんが日本語で開会のあいさつを、奥さんの美千代さんが英語でスピーチをして、ベストカップルぶりを披露し、交歓会が始まりました。このあと、中学校生徒会会長 上野竜二君によるあいさつがあり、この会はいっそう盛り上がりムードにつつまれました。

開会式のあとは、招待を受けた外国人選手と、会場にあつまった町民のみなさんの交流がひろがり、いたる所にあつまっていた小・中学生が手ぶり、身ぶりで慣れない英語をつかって、外国人選手と話すなど、まさに生きた国際交流の体験学習をし、ふれあいコミュニケーションが行われ、友好が深まりました。

南木菅原神社神幸祭



5月2日～3日にかけて南木菅原神社神幸祭が行われました。2日はおくだりの日でしたが、あいにくの雨で、楽打ち(田楽)と獅子舞は行われませんでした。お神輿だけが役員のみなさんで小雨のなか、お旅所までビニール袋を掛けて運び込まれました。3日は五月晴れとなり、お上りの楽打ち(田楽)と獅子舞があり、南木地区内をお神輿がまわり、神社に戻ったあと、楽打ち(田楽)と獅子舞が奉納され無事にお祭りは終わりました。

南木のお祭り



南菅原神社のお祭りの始まりは、江戸末期から始まったという言い伝えがありますが、このお祭り、正確な文献が残っているのは、明治初期(十四、五年ころ)に、筑前綱分村(現・庄内町綱分)へ当時の南木村の故・古屋茂市さんが、中心になり獅子舞を習いに行つたということが残っています。その帰り道に、習ったことを忘れていないかを確かめるために当時のみなさんは、カラス尾峠頂上で獅子を舞って確かめてみたと言つておられます。今では、大変便利なビデオ撮影という文明の力がありますが、その時のみなさんは大変ご苦労されたことと思います。

また、楽打ちは田楽であり、田植えの風景を表すもので、五色の華麗な衣装は稲作の豊作を願う子どもたちが着て、太鼓を打ちます。また、獅子舞と楽打ちがいつしよに行われるのはめずらしいことで、金田町内でも南木地区だけに残る伝統行事です。一種のおもむきのあるお祭りとなっているのが特徴です。

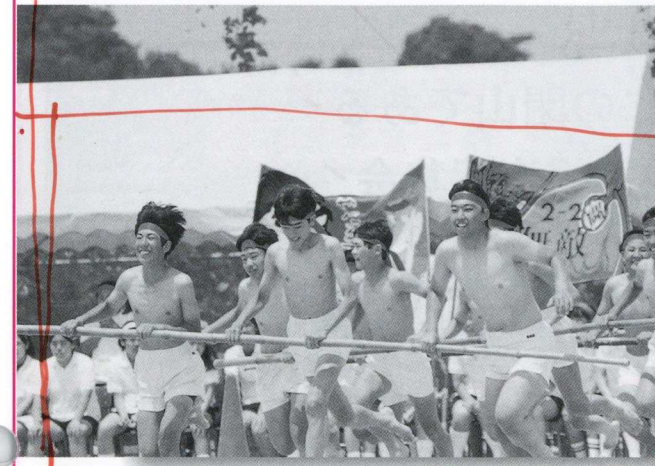
二重ヶ池公園草刈り清掃／参加者235名



5月10日曇り空の下、上金田地区にある二重ヶ池公園の草刈り作業が行われました。上金田、平原行政区のみなさんが、午前8時より集まりだし作業が始まり、草刈り機のエンジン音が二重ヶ池に響きわたると、作業をする人がまたたく間にふえ、上金田、平原地区より参加した人は、235名を数えるまでになりました。

両行政区のみなさんの汗と、二重ヶ池公園を守っていく心が、わずか4時間で美しい公園へと変わりました。

アンコール巻おこる 金田中学校体育会



5月17日に第52回中学校体育会が行われました。当日は、午前中曇りがちで涼しく感じられていましたが、午前中の演技種目が終了するころには、五月晴れの青空となり暑い一日となりました。1組ブロック赤、2組ブロック白、3組ブロック青にわかれた生徒たちは、選抜チームによる100m走、200m走、400mリレー、800mリレーなどブロック別に対抗意識を燃やし、競技内容に一喜一憂しながら声援を送っていました。しかし、午前中の最終の見せ場にあたる女子全員の創作ダンス「今、輝いて」や、男子全員の棒体操「新作披露」のときには、ブロックの対抗意識はなく、全員で一つの演技を完成させるといったすばらしい場面を披露してくれました。特に、男子全員の棒体操には、「アンコール」「アンコール」……の声が場内から巻おこり、2回の演技にまわりからは、拍手が鳴りやみませんでした。

みんなで植えました



5月1日に金田保育園のさくら組、もも組、ばら組の園児たちが、小学校の裏にあるファミリー農園で、スイカ、ナス、トマト、カボチャ、ピーマン、キュウリ……など、9種類の野菜の苗を植えました。

園児たちは、苗を見て「これは何、いつ食べられるようになるの」など、おしゃべりをしながら手を真っ黒にして苗を植えました。

また、金山園長のお話によると、キュウリが大嫌いな園児がいましたが、苗から育てていくうちに食べられるようになったということです。この園児たちによる野菜づくりは、平成元年より毎年続いています。

ちょっとそこまで!



5月1日に小学校の歓迎遠足が天候の都合により予定変更となり、お弁当を用意してきた児童と先生たちが役場裏の花水木のんびり広場で、お弁当をひろげて楽しそうに食べているところです。やはり、外でのんびりとおしゃべりをしながら食べるお弁当は、大変おいしかったようです。